

令和5年度 第2回かほく市行政改革推進委員会 会議録

日 時	令和6年3月27日（水） 9時51分～10時31分
場 所	かほく市役所庁舎 302会議室
出席委員	坂野委員、南委員、西田委員、元木委員、楠委員、桶谷委員、中嶋委員、上村委員、竹本委員（9名） ※欠席：遠田委員、森下委員、東委員（3名）
事 務 局	総務課【竹田課長、折戸課参事、新田主幹、山本主査、石野主査】
議 題 等	1. 坂野会長あいさつ 2. 第5次行政改革大綱の策定について 3. その他
会議資料	・かほく市行政改革推進体制 ・行政改革推進委員会 今後のスケジュール ・第5次かほく市行政改革大綱の策定について（重点項目素案）

○第5次行政改革大綱の策定について

- ・事務局より、第5次行政改革大綱の策定について、会議資料に沿って説明を行った。

○その他

- ・事務局より、今後の会議の開催予定と報酬支払についての説明を行った。

【主な質疑応答】

（委員）

- ・今回の震災により、大綱案に変更点や追加点はあるか。

（事務局）

- ・今回お示した項目の中には能登半島地震によって加えたものはないが「安全・安心な生活環境の整備」の項目の中で、各課において検討したうえで、加えるものがあれば加えていくことになろうかと思う。

（委員）

- ・今回の地震の被害状況はどれくらいなのか。地震への対策について、これまでもしてきたと思うが、今回の震災を機会にもう一度見直してみても良いと思う。

（事務局）

- ・今回の震災については、これから本格復旧となっていく。「安全・安心な生活環境の整備」という項目の中で、委員の皆様や専門部会の意見を伺いながら、各課の詳細な目標を定めていきたい。

(委員)

・「一体的な子育て支援の充実」や「市民の健康づくりの機会創出」の項目については、行政だけではなく、町会や区などの地域とも協力し、官民一体でやっていけば良いと思う。具体的にいうと、私の地区ではプラチナ体操は高齢者の健康維持に大変役立っていると感じ、区から体操グループに助成を行っている。それぞれに協力し合うことで役割や内容も充実すると思うので、他の地区でもこういった活動を支援する状況になれば良いと考える。

(事務局)

・前回会議では令和4年度の実績報告として、プラチナ体操はコロナによって参加者が減少した旨をお伝えさせていただいた。担当課においてもPRの手法や、各町会区との連携によって、参加者の増加を目指していくこととしている。改めて今回のご意見も担当課にお伝えさせて頂く。

(委員)

・中学校の部活動の地域移行について、令和6・7年度を移行期間とし、8年度から完全移行と聞いている。地域移行に伴いスポーツクラブを立ち上げる場合、備品の調達や体育館の使用料等の費用がかかり、それを各家庭で負担するとなるとかなりの負担になるので行政からの支援が必要であると考え。

(事務局)

・令和6年度から試行的に行っていくと聞いている。その中で家庭の負担などの色々な課題もあるかと思う。いずれにしても指導者と生徒がよりよく部活動ができる方向になるよう、担当課にご意見を伝えさせて頂く。

(委員)

・公民館について、平日の日中はあまり活用されていないように感じる。市民の憩いの場や、こども達の居場所としての活用もあっていいのではないかと感じるし、それが地域の活性化にもつながるのではないかとと思う。

(事務局)

・公民館については旧3町において取扱いが異なっているということもあるが、今ほど頂いたご意見は担当課にお伝えさせて頂く。

10時31分会議終了